

授業料不徴収協定に基づく派遣交換留学終了報告書

留学プログラム名	派遣交換留学		
所属(本学)	環境・社会理工学院 建築学系 建築学コース		
現在の学年	修士2年		
留学先国	スウェーデン	留学先大学	シャルマーズ工科大学
留学期間	2016年1月14日～2017年1月31日		

① 留学先大学の概略

スウェーデン、ヨーテボリにある私立の工科大学。

② 留学前の準備

就職活動の情報集めなどは大抵12月から始まるので、少しでも興味のある会社の情報を調べた。また、留学が始まる時期が日本での学期中であったため、その時期に講義に参加しなくてもよい授業をとるなど、担当教員と話し合いながら単位の調整を行った。

留学情報は基本的にインターネットでスウェーデンに留学した人のレポートを読むなどした。語学に関しては、専門分野に関する語彙の強化をするなどして準備をした。

ビザの申請は大学の入学許可が来た直後にインターネットで申し込み、2週間ほどで返事が来たため、特に大きな問題はなかった。

住居は、大学より推薦された学生寮を日本でインターネットで申し込んだ。

③ 留学中の勉学・研究

前期は3つの授業を履修した。スウェーデンの授業の制度では、基本的に同一時期に受ける授業は1つで、1つの授業を最後まで終わると、新しい授業のタームが始まるようになっていたため、それぞれの授業に集中して取り組むことができた。最初の Nordic Architecture という授業では、受講生のためのスウェーデン内の建築バスツアーがあり、様々な建築を解説付きで見学回ることができた。レポートを少人数グループで議論しながら進めていくのだが、特にスウェーデン人の英語は早く、理解して議論についていくのに一苦労した。また、二つ目の Matter space structure というデザインスタジオでは、今ヨーロッパで重要な課題となっている移民、難民に対して居住地域を作るという課題で、ネガティブな問題に対して悲観的になるのではなく、設計を通して創造的な解答を提示するという考え方が新鮮だった。グループワークと個人での作業が両方あったので、たくさん他の学生たちと話す機会があった。コンピューターの問題もあったものの、ヨーロッパの学生たちに比べ自分のグラフィックの技術の不足を感じた。最後の Architectural competition という授業では、崖の上に結婚式場を設計するという課題に対して学生全員でコンペティションを行った。学生同士で議論しながら個人の作品を作っていくのは非常に楽しかった。グラフィックも前回より上達することができたと思う。

④ 留学中に行った勉学・研究以外の活動

留学の後期は、授業を取らずに市内の建築事務所でフルタイムのインターンをしていた。

⑤ 留学を終えて、自分自身の成長を実感したエピソード

スウェーデンでは、ほとんど日本人と会うことがなかったため、全ての会話が英語だった。つまり会話をするときには基本的に英語で思考していたので、英語に早く慣れることができた。また日本にいたときに他国からの留学生と話すのと違い、誰もが日本に興味があるわけではないので、自分から話さないと友達を作るのは難しかった。そのため、積極性が上がったと思う。また、レストランがどこも高かった上に家のキッチンが充実していたため、料理をたくさん作り、かなり上達した。

⑥ 留学費用

渡航費は往復で 45 万円した。もう少し早く航空券を買えばよかったと思っている。家賃は月 4 万円程度で 19 m²の個人部屋に住むことができた。食費は月 5 万円程度だった。

⑦ 留学先での住居

大学に紹介された市内の SGS という学生寮を管理する団体のホームページで住居を探した。ルームシェアではなかったが、他の住人と仲良くなってコモンキッチンでパーティーをすることもあった。暖房もよく効き、非常に快適な住居であった。

⑧ 留学先での語学状況

大学での授業は全て英語で、スウェーデン人は英語が非常に堪能なので、事務手続きの関係で特に困ることはなかった。最初はなかなかヨーロッパ人の英語のスピードについていけず、大変だったが、だんだん耳が慣れてきてわかるようになってきた。

⑨ 単位認定、在学期間

単位認定は行う予定だ。在学期間は伸ばしていないが、滞在期間はビザが切れるギリギリまで伸ばして滞在した。

⑩ 就職活動

ヨーロッパでは、学歴などよりも経験が就職のために大事であることと、スウェーデンの会社がどのように機能しているのかを知りたかったので、フルタイムで 5 ヶ月間のインターンをした。大学院の卒業後、スウェーデンに戻りその会社か別の会社を探して就職する予定だ。したがって、留学中に特に日本での就職のための活動はしていない。

⑪ 留学先で困ったこと

11 月に毎日原因不明の頭痛に悩まされ、インターンを何回か休んだ。スウェーデン人の友人に頼み医院に電話をしてもらったが、2 週間待ちと言われ、耐えきれそうもなかったので緊急外来に行き、診察を受けた。スウェーデン人の友人がいなかったらいけそうもないようなわかりにくい場所だったので、事前のリサーチが大事だと思う。

⑫ 留学を希望する後輩へアドバイス

留学はとりあえずとても楽しいです。日本に住んでいたときにいかに日本の“普通”に慣れきっていたかを思い知らされたり、自分を見つめ直すことも多かったり、考え方がガラリと変わったように思います。その場所の生活者になるということは、海外旅行ではできない体験だと思うので、もし少しでも興味があるなら、ぜひお勧めしたいです。奨学金などきちんと前もって調べておけば、金銭的にも楽に行くことができます。